

住宅生産者による花粉症対策の取組みについて

■花粉症対策に関する政府の方針

政府は、花粉症は未だ多くの国民を悩ませ続けている社会問題であること、また、省庁の縦割りを排して様々な対策を効果的に組み合わせることで実行していくことが重要であり、息の長い取り組みが必要であるとし、令和5年5月30日に「花粉症対策の全体像（花粉症に関する関係閣僚会議決定）」をとりまとめました。

花粉症対策の全体像では、3つの柱として、「発生源対策」、「飛散対策」、「発症・曝露対策」が掲げられ、「発生源対策」では、花粉発生源のスギ人工林を、10年後に2割減少させることを目指し、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化と併せて、スギ製材の加工流通施設の整備や安定供給体制の構築とともに、伐採したスギを住宅などの建物で積極的に活用する需要の拡大を図ることが示されています。

（参考）花粉症に関する関係閣僚会議 | 内閣官房ホームページ (cas.go.jp) <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kafun/index.html>

■花粉症対策としての国産スギ材利用の取組み

【住宅業界の特色】

国産スギ材の利用を図るため、今回、住宅業界におけるその利用状況の見える化に取り組みます。その際、住宅がその供給者ごとに木質系・鉄骨系・コンクリート系など、木材の使用量や使用部位が異なる多様な構造・工法で作られていること、供給者である住宅事業者には、全国規模で販売している大手ハウスメーカーから地元密着の中小工務店まで様々な形態が存在していること、また木材の使用量は、毎年の住宅供給量の変動にも大きく影響を受けること等、住宅業界の特色を考慮する必要があります。

【住宅業界の現状と取り組み】

住宅事業者各社は、これまでも木の炭素を固定、貯蔵する特性を踏まえ、脱炭素社会の実現を目指す中で、それぞれの特色を生かしながら、柱や壁などの主要構造部分とともに、下地材、内装材などにおいて国産木材の利用に取り組んでまいりました。今後も、こうした取組みを進めつつ、消費者のニーズを踏まえ、魅力ある住宅を供給するべく努力を重ねてまいります。

【推進にあたっての課題】

一方で、国産スギ材の利用促進にあたっては、スギは他の木材に比べて構造強度上の制約があること、安定的な供給量が必ずしも確保できていないこと、また ESG 経営に求められる森林認証が日本ではなかなか進んでいないことなど、住宅業界のみでは対応困難な課題も多くあります。

このような課題を解決するため、関係省庁に対する要望活動など関係者と連携して取組みを進めるとともに、今回、花粉症対策に貢献する国産スギ材の利用促進に向け、国民の皆様には住宅事業者の取組みをご理解頂くため、傘下団体の主な会員企業の国産スギ材の利用状況や、その他国産木材の利用推進に向けた取組み等を「住宅生産者による国産スギ材等の利用状況」として取りまとめ、お示しすることといたしました。

なお、取組み状況は毎年更新し、企業の事業年度などの関係で前年1月～12月集計企業を1月末に、前年4月～本年3月集計企業を4月末に更新いたします。

住宅生産者による国産スギ材等の利用状況

一般社団法人 プレハブ建築協会

特徴	当協会は、プレハブ建築の建設・普及を通じて、良質な社会資本の形成と豊かな生活環境の創造を推し進め、もって国民経済の繁栄と国民生活の向上に寄与することを目的としており、プレハブ建築の建設事業又は販売事業を営む法人等を会員としております。また、プレハブ建築には以下の様な特徴があります。 ●戸建住宅や賃貸住宅等があり、構造部材の種類などによって木質系、鉄鋼系、コンクリート系の工法などがあります。 ●プレハブ住宅は、国が推奨する長期優良住宅やZEH等で業界をリードしています。		
(五十音順)			
1	旭化成ホームズ株式会社 (令和7年1月31日更新)	◆主な構造 ・軽量鉄骨・ALC造 ・重量鉄骨・ALC造 ◆その他特色 ・基本構造体には鉄骨とALCコンクリートを使用 ・木材の使用箇所は仕上げ材など限られた部分のみ	◆国産木材使用量・率（□構造材・☑その他） ・国産スギ材使用量 約8,430㎡【スギ立木37,092本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約35% 算出根拠 ☑購買部門からの数量 □標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 □その他（算出法記載） ※構造材は非木材のため不算入、戸棚等の箱物やフローリング等は不明のため不算入 ◆その他の取組
2	積水化学工業株式会社	◆主な構造 ・軽量鉄骨造 ・木造枠組壁工法構造 ◆その他特色 ・工場でユニットを生産し、現地へ輸送して組み立てる工法で「型式適合認定」及び「製造者認定」を取得	◆国産木材使用量・率（□構造材・☑その他） ・国産スギ材使用量 約1,850㎡【スギ立木8,140本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約4% 算出根拠 ☑購買部門からの数量 □標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 □その他（算出法記載） ◆その他の取組 ・土台に国産ヒノキ材の使用を検討中 ・天井野縁に国産ヒノキ材のフィンガージョイント材の使用を検討中 ・HEPAフィルターで花粉や微粒子を99%以上除去する第一種換気・全室空調システムを採用

3	積水ハウス株式会社	◆主な構造 ・軽量鉄骨造 ・重量鉄骨造 ・木造軸組構造 ◆その他特色 ・軸組工法・ツーバイフォー工法・ラーメン工法のメリットを合わせ持つオリジナルのシャードウッド構法 ・集成材と独自設計のメタルジョイント接合システム・基礎ダイレクトジョイント（土台レス）による骨組みを構造用合板で覆う「モノコック構造」を採用 ・国産スギ・ヒノキを中心に、地域ブランド柱・梁をセレクト仕様として商品化 ・基礎ダイレクトジョイントを在来木造軸組構造と組み合わせた「ダイレクトジョイント構法」を、木造住宅の耐震性向上を実現する共同建築事業「SI事業」でも採用	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ+その他（国産ヒノキ）使用量 約47,446㎡【スギ立木218,251本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約19.14% 算出根拠 ☒購買部門からの数量（製材ベースでの算出） ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ・国産ヒノキ材で作られた高耐久ウッドデッキ・フェンスの開発及び外構計画での活用を開始 ・環境パイル工法（国産スギ木杭）による地盤改良を全国で展開 ・奈良県・山梨県等自治体との県産材の利用促進に関する包括連携協定の締結 ・地域の在来種を採用し、生態系の保全に貢献する「5本の樹」計画による植栽提案を推進 ・花粉等の侵入を抑える外気フィルターを搭載した換気システム、HEPAフィルターを搭載した天井埋込型空気清浄機を戸建住宅にて標準的に採用
4	大和ハウス工業株式会社	◆主な構造 ・軽量鉄骨造 ・重量鉄骨造 ・木造軸組構造 ◆その他特色 ・木造軸組構造の住宅商品では国産スギ集成材の構造柱120角を採用	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材使用量 約2,043㎡【スギ立木8,991本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約3% 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ・CLT、国産材、スギ材を使用した非住宅系木造建築物を展開 ・国産材CLTを使用した高耐力壁を開発し住宅商品で採用 ・HEPAフィルターを採用した空気浄化ユニット、全館空調システムを用意

5	トヨタホーム株式会社	◆主な構造 ・軽量鉄骨造 ・木造軸組構造	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材+その他(ヒノキ・カラマツ等) 使用量約 1,692㎡【スギ立木7,445本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約4% 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ・花粉症対策として、24時間換気扇（セントラル式熱交換型）でHEPAフィルターを採用
6	パナソニック ホームズ株式会社	◆主な構造 ・軽量鉄骨造 ・重量鉄骨造	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材+その他（国産マツ）使用量 約16,104㎡【スギ立木70,858本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約28% 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 （発症・曝露対策） ・HEPAフィルターを搭載した換気設備による花粉流入対策、さらに、室内空気をHEPAフィルターで循環浄化する全館空調設備導入による持ち込み花粉の除去対策を推進 ・当該住宅設備を搭載した住宅居住者への健康症状の変化に関する調査研究を通じた効果検証を推進
7	ミサワホーム株式会社 （令和7年1月31日更新）	◆主な構造 ・木質パネル構造 ◆その他特色 ・床、壁、屋根を工場生産した木材の芯材に合板面材を接着したパネルにて構成 ・建物を箱状に構成するモノコック構造のため、構造耐力性、断熱性等が高い	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ+その他（国産ヒノキ・松）使用量 約56,900㎡/年【立木約250,000本分に相当】 ・総木材使用量に対する国産比率 約22% 算出根拠 ☒購買部門からの調達実績 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ・パネル構造の特長上、パネル芯材・面材にはスギは使用していない ・独自の木材調達ガイドラインにもとづき、国産材及び輸入材とも、国際認証林及びトレーサビリティのしっかりした地域から合法的に伐採された木材を調達（認証材比率約85%） ・花粉等の物質の侵入を抑える外気フィルターを搭載した24時間換気の「フロアセントラル換気システム」を標準装備

一般社団法人 日本木造住宅産業協会

特徴	◆（一社）日本木造住宅産業協会（木住協）は、木造軸組工法住宅の普及と木造住宅産業の健全な発展に寄与することを目的に、1986年4月に公益法人として設立され、2013年4月に一般社団法人に移行しました。 ◆木造軸組構法は、木造の住宅・建築物の構法の一つで、柱や梁といった軸組（線材）で建物を構成する設計自由度が比較的高い構法です。 ◆大気中のCO ₂ を吸収して炭素を蓄えた木材からなる木造軸組構法の普及は、地球温暖化の抑制に貢献します。地域に根ざし、環境に配慮した長持ちする家づくり、人々が安心・安全・快適に暮らせる家づくりを提供するために行動します。		
(五十音順)			
1	株式会社 AQGroup (令和7年1月31日更新)	◆主な構造 木造軸組構造 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（ ☒ 構造材・ ☒ その他） ・国産スギ材＋その他の国産材使用量 約7,628㎡ 【スギ立木 33,563本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約24% 算出根拠 ☐ 購買部門からの数量 ☒ 標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐ その他（算出法記載） ◆その他の取組
2	ケイアイスター不動産株式会社	◆主な構造 木造軸組構造、ツーバイフォー工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（ ☒ 構造材・ ☒ その他） ・国産スギ材使用量 約36,465㎡ 【スギ立木160,444本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約35% 算出根拠 ☒ 購買部門からの数量 ☐ 標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐ その他（算出法記載） ◆その他の取組 日本木造分譲住宅協会の会員として、積極的な国産材の利用をメーカー、プレカット業者と共に推進している。また、一部フル国産材仕様の商品を企画し、国産材利用促進につなげている。 特に国産杉の横架材への利用を製材所・商社とともに模索研究を行っている。
3	三交不動産株式会社	◆主な構造 木造軸組構法 ◆その他特色 国産（三重県産）桧・杉ハイブリッド合板使用	◆国産木材使用量・率（ ☒ 構造材・ ☒ その他） ・国産スギ材使用量 約1,308㎡【スギ立木5,756本分に相当】 ・国産合板使用量 約630㎡【スギ立木2,772本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約59% 算出根拠 ☒ 購買部門からの数量 ☐ 標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐ その他（算出法記載） ◆その他の取組 三重県大台町・宮川森林組合・三交不動産(株)と連携を取り、大台町と三交不動産(株)の第3セクターで運営するプレカット工場（(株)エム・エス・ピー）を活用し、国産（三重県産）杉を積極的に活用する仕組みを実施しています。

4	株式会社 シェルター	◆主な構造 木造軸組み構造 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☐その他） ・国産スギ材使用量 約2,713㎡【スギ立木11,935本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約34% 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組
5	住友林業株式会社 （令和7年1月31日更新）	◆主な構造 木質梁勝ちラーメン構造 （ビッグフレーム構法） ◆その他特色 土台、大引き、羽柄材、構造用合板などには国産材（スギ・ヒノキ）を使用。 また、耐力壁材を兼ねた外壁下地材「きづれパネル」に国産スギ材を使用。	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ+その他（国産ヒノキ）使用量 約10万㎡ 【スギ立木44万本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約56% 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ①伐採後に植える花粉の少ない苗木の生産拡大に加え、組織培養技術を活用した無花粉杉の苗木安定供給に向けた研究開発に取り組む。 ②強度が必要な横架材などにもスギ材が使えるよう研究開発を行っている。 ③非住宅木造建築へのさらなる国産木材利用促進
6	ナイス株式会社	◆主な構造 木造軸組工法 ◆その他特色 メタルジョイント方式によるオリジナル建築工法「パワービルド工法」を採用。	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ+その他（ヒノキ、カラマツ）約4,800㎡ 【スギ立木 21,120本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約100% 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 脱炭素社会に向けて国産材による建築物の木質化を推進しています。農林水産省と「国産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結。「木材流通」をルーツとする当社は、利益の一部を山林に還元するという考えに基づき8つの社有林「ナイスの森」を保全育成しています「ナイスの森」総面積2,032.2ha、年間二酸化炭素吸収量約7,400t-CO₂、炭素貯蔵量約610,000t-CO₂
7	株式会社 成建	◆主な構造 木造軸組構造 ツーバイフォー工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☐その他） ・国産スギ材使用量 約366㎡【スギ立木1,609本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約22% 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 土台、横架材、垂木等で国産材の桧を一部利用

8	株式会社 松井建設	◆主な構造 木造軸組工法 ツーバイフォー工法 ◆その他特色 木造軸組には地域材を使用	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材使用量 約90㎡【スギ立木396本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約50 % 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組
9	株式会社 ヤマダホームズ	◆主な構造 木造軸組工法 木造枠組工法 木質接着パネル構法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☐その他） ・国産スギ材使用量約22,000㎡【スギ立木96,800本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約60 % 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 ヤマダホームズの内装材としてお客様にご提供している空気質改善システム「爽空間」を埼玉大学と共同研究し、花粉アレルギーの低減効果を確認。日本花粉学会でも発表。
10	株式会社 ロイヤル住建	◆主な構造 木造軸組構造 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材使用量 約33㎡【スギ立木141本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約26 % 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組
11	株式会社 和奏建設 (令和7年1月31日更新)	◆主な構造 木造軸組構造 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ材+その他(桧)使用量 約292㎡【スギ立木1284本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約40 % 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 県産材（杉・桧）を積極的に使用

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会

特徴	● 一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会は、枠組壁工法建築に関する技術の普及及び向上等を目的として1976年に設立された団体です。 ● ツーバイフォー工法は、耐震性・耐火性・省エネルギーをはじめとする性能に優れた建築工法として、実績を積み重ねてきました。主に6種類の規格化された構造用製材で枠組を作り、構造用面材を貼り付けた強度の高い床版、壁版からなるダイアフラム構造で外力に耐えます。また、パネルによる工法は、生産性・施工性にすぐれ、コスト低減にも資するものです。 ● 近年の環境や人にやさしい木の建築の普及とともに、中大規模の建築でも採用が増えており、当協会では、樹木が吸収したCO₂を炭素として貯蔵する木材を構造材とする木の建築を増やし、「都市に第二の森を創る」ことを目指しています。 ● また、林業における川上から川下まで、ツーバイフォー工法用国産木材の持続可能なサプライチェーンを構築すること等を目的として、 ・国産木材製品の規格標準化 ・たて継ぎ材の新規需要創出 等の検討を行っている「ツーバイフォー建築における国産木材活用協議会」と連携を図り、国産木材の活用を推進しています。		
	(五十音順)		
1	株式会社 OSCAR	◆主な構造 枠組み壁工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率 (☑構造材・□その他) ・国産スギ材使用量 約1,350㎡【スギ立木5,940本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約49% - 算出根拠 ☑購買部門からの数量 □標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 □その他 (算出法記載) ◆その他の取組
2	株式会社 クリエイト礼文	◆主な構造 ツーバイフォー工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率 (☑構造材・□その他) ・国産スギ材使用量 約 1,120㎡【スギ立木4,928本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約30% - 算出根拠 □購買部門からの数量 ☑標準的なプラン1棟当たりの7㎡×160=1,120㎡ □その他 (算出法記載) ◆その他の取組 国産材の使用に力を入れており、7割から8割の使用率になっております。ゆくゆくは100%にする予定です。
3	株式会社 新昭和	◆主な構造 ツーバイフォー工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率 (☑構造材・□その他) ・国産スギ材使用量 約 2,160㎡【スギ立木 9504本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約 30% - 算出根拠 ☑購買部門からの数量 □標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 □その他 (算出法記載) ◆その他の取組

4	三井ホーム株式会社	◆主な構造 ツーバイフォー工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☐その他） ・国産スギ材等使用量 約 10,897㎡ 【スギ立木 47,947本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約23% ※2022年度実績 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☐標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組 木造マンション、中層木造の施設系建築においても国産木材の活用拡大を図っている。
5	三菱地所ホーム株式会社	◆主な構造 2 x 4 工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☐その他） ・国産スギ材使用量 約2,590㎡【スギ立木11,396本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約28.4% ※2022年度実績値 算出根拠 ☐購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組

一般社団法人 全国住宅産業協会

特徴	(一社)全国住宅産業協会（全住協）は、中堅企業を中心に上場企業も含む全国17団体・1,700社を擁する団体で、会員は首都圏並びに北海道から沖縄まで、各地域において戸建住宅及びマンションを供給しています。戸建住宅では、再生可能な資源である木材を使用し、木造軸組工法、枠組壁工法（ツーバイフォー住宅）等により、全国で分譲住宅・注文住宅を供給しております。吸収源対策として木材利用の拡大を通じ、脱炭素社会の実現に寄与します。		
(五十音順)			
1	株式会社 細田工務店	◆主な構造 木造軸組工法 ◆その他特色	◆国産木材使用量・率（☒構造材・☒その他） ・国産スギ+ヒノキ材使用量 約2,285㎡ 【スギ立木10,054本分に相当】 ・総木材使用量に対する比率 約55% 算出根拠 ☒購買部門からの数量 ☒標準的なプラン1棟当たりの数量×完工棟数 ☐その他（算出法記載） ◆その他の取組